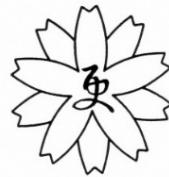


第103号 更女会だより

大東支部担当

令和4年9月発行



# 掛川地区

## 更女会だより

### 『活動することの喜び』

会長 大石 幸恵

気候変動による温暖化の影響なのか、異例な早さでの梅雨明けとなり、厳しい夏が到来しました。

皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

今年度の総会は、3人のご来賓のご臨席を賜り 60名の会員の出席のもと、3年ぶりの開催となりました。御歌斎唱も、網領唱和も黙唱ではありましたが、久しぶりに会えた事を喜び合う皆さんのが笑顔に、開催できた事を嬉しく思いました。

当日上演の朗読劇「『あの日』ヒロシマ・ナガサキ」では、多くの皆さんのが世界平和への願いを感じたようです。

総会後、お二人のご来賓より感想をお寄せいただきました。

堀会長様からのメッセージとともに、今回の更女会だよりに掲載させて頂きましたのでご覧ください。

新たに4名の会員を迎え、各支部活発に活動が行われています。支部間の交流も図られ、横の繋がりや広がり（輪=和）を感じます。

7月1日の「更生保護の日」には、保護司さんと共に、「社会を明るくする運動」の街宣活動に参加して、「大人も子どもも皆が幸せに、安全で安心に暮らせる社会の実現を！」と呼びかけました。

暑い一日でしたが、活動することの喜びを実感！保護司さんとの連携の深まりも感じました。

コロナ禍もまだまだ続くと思いますが、掛川地区更生保護女性会として「出来る時に、出来ることを！」活動していきましょう。

ひき続き皆様のご協力を宜しくお願いします。



7月1日 社明運動出発式

### 目次

- P1 活動することの喜び  
(会長 大石 幸恵)
- P2 県更女連盟会長メッセージ  
(県更女連盟会長 堀 靖代 様)
- P3 総会に参加して  
(保護司会副会長 岡田 幸子 様)  
(湖西地区更生保護女性会  
会長 菅沼 敦子 様)
- P4 (大須賀支部 清水 久美子)  
(掛川支部 戸塚 久美子)
- P5 アトラクション「あの日」ヒロシマ・  
ナガサキ  
(掛川支部 平出 芳枝)
- P6 朗読劇の感想
- P7 支部活動 (大須賀)  
(まきばの家職員 柳澤 芽衣 様)
- P8 まきばの家 花壇の手入れ  
(大須賀支部 鈴木 瞳子)
- P8 更生保護×養護=明るい社会  
(ききょう荘 施設長 鈴木 龍太 様)
- P9 ききょう荘にて  
(掛川支部 伊藤 啓子)
- P9 ミニ集会 (永福寺の僧侶法話)  
(大東支部 五島 ひさゑ)
- P10 ミニ集会に参加して  
(大東支部 明石 ふさ子)
- P10 「社会を明るくする運動」キャンペーン
- P11 会員研修会～掛川市消防本部南消防署  
による救急法研修会  
'あなたにしか救えない命があります'  
(大東支部 雑賀 雅子)
- P12 新会員研修の意義  
(大須賀支部 鈴木 さえこ)
- P12 退会者の紹介
- P13 今後の活動計画

掛川市役所福祉課

掛川市長谷 1-1-1

TEL: 21-1140 FAX: 21-1163

掛川地区更生保護女性会

<http://kakegawa-koujyo.com/>

会長 大石 幸恵

## 静岡県更生保護女性連盟 会長 堀 靖代 様より メッセージをいただきました

木々の美しい緑に、季節の移ろいを実感する昨日です。

本日ここに御来賓のご臨席を仰ぎ、掛川地区更生保護女性会の総会が開催されますこと心よりお慶び申し上げます。

2年間にわたるコロナ禍により、多くの活動が制限されました。いまだに活動できない辛い経験も続いています。

しかし皆様の地区会は、十分の感染予防対策を取りながら大石会長のもと「出来る時に 出来る事を」の言葉どおりの活動を展開された事と思います。

昨年度県連盟は観察所のご好意で3つの研修会が開催出来ました。小規模ではありましたが、対面での会話の良さと効果を実感致しました。

令和3年2月発行の掛川地区更女だより第100号を読ませていただきました。掛川地区の皆様の活動に対しての熱い思いに胸を打たれました。私は年度当初の県連盟の総会のたびに、御地区会に感謝の念を持ちます。高校生に対して「命がだいじ・家庭がだいじ」をスローガンとした冠講座開催の手ほどきをして下さいましたことと「更女の茶」販売にご不満を持たれた御地区の皆様に「この新茶をこの値段では購入できません」と話してくださいました。掛川地区理事の方のお言葉に対してです。これらのこととは、今に続く県連盟の活発化を大きく支えて下さっています。



御歌の斎唱と綱領の唱和（黙唱）を行う更女会員

さて、今多くの市・町で学校・家庭・地域連携推進事業の言葉を見聞きします。学校・地域ひとつなぎ、そのなかの「つなげよう、子供を育む地域の力」の言葉は、私たちの目指す子育て支援そのものと思いました。

昨年4月、幼い多くの子供が性被害を受けていることを知った私たち県連盟は「教えてくもくん」の低年齢向けの性教育の絵本を、各地区会から県内の多くの小学校、幼稚園、保育園に贈呈いたしました。各地区でマスコミにも取り上げられました。コロナ禍の中で何ができるか？と考えた中の活動の一つです。

これからもウィズコロナの精神で、このような時だからこそ活動も生み出せるのではないかでしょうか。

更女活動の歴史を振り返りますと「ミニ集会・行動する更女・ネクスト5・広げる・6つの着眼点」等の言葉が思い浮かびます。なつかしいと思われませんか。

これらの言葉を今一度振り返り、会員一丸となってよりよい活動の進展を実現して参りましょう。

結びに掛川地区更女の益々の発展と、本日お集まりの皆様のご健勝をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。



総会で挨拶をする掛川地区更女会 大石会長

## 『掛川地区更生保護女性会総会に参加して』

掛川市地区保護司会 副会長 岡田 幸子

風かおる五月晴れの中、掛川地区更生保護女性会総会に出席をさせて頂き、お礼申し上げます。

実に爽やかで雰囲気も良く、なおかつ細やかに気配りされた総会に感激しました。いただいた記念品の掛川市指定ごみ袋も生活の必需品であり、嬉しかったのは私だけでなく、会員の方もそうであったと思います。

挨拶の中では伝えきれませんでしたが、東遠学園への心のこもった手作りの雑巾の贈呈は、学園から大変喜ばれ大切に使用されるなど、皆様の日頃の活動の積み重ねが、好循環の起点となつていると実感しています。

また、7月の社会を明るくする運動のご参加と9月の小中学校の児童生徒さんの作文審査へのご協力。そして、10月の東遠学園での協力。そして、10月の東遠学園での社会貢献活動など、お願ひばかり申し上げていましたが、今後も、保護司の活動へのご協力をお願い申し上げます。

余談ですが、総会の帰り際、一人の会員さんと、あるお店で一服しました。このひと時もよい思い出であり、今後に繋がるパワーをいただきました。

大変お世話になり、ありがとうございました。重ねてよろしくお願ひ致します。

湖西地区更生保護女性会 会長 菅沼 敦子

5月は、青葉・若葉が最も美しい季節。濃淡様々な緑が目に眩しく、あらゆる命が芽吹き輝く。多くの人達にとって心弾む一時期ですね。

5月19日、堀靖代県連盟会長の代理として掛川地区の総会に伺いました。掛川駅には、前会長の小澤悦子氏が出迎えてくれました。雲一つない青空の下、見渡す限りの新緑に加え、左右に広がるお茶の美しさ。私は、お隣の袋井市と合併した旧浅羽町の生まれで、田畠と山に囲まれた田舎育ち。自然いっぱいの風景は見慣れています。でもこの日の情景はその何倍もの美しさでした。一幅の絵となり、心にいつまでも残ることでしょう。

大須賀市民交流センターでは、役員の方々が生き生きと受付の準備をされていました。みなさん笑顔で、3年ぶりの総会が待ち遠しいとの思いが全身に溢っていました。何人かの方がとても気さくにお声を掛けてくださり、初めての場所で緊張するなあの思いはどこかへ飛んでしまいました。進行はスムーズに、一つ一つ丁寧な説明を交え、更生保護の理念をしっかりと踏まえた素晴らしい総会でした。私は常々、掛川更女会は揺るぎない絆で繋がっているとの思いを強くしていました。それは、これまで培ってきた更女愛と、まもなく60周年という永い歴史に裏付けられた活動実績からくるものなのでは、と思います。

総会後のアトラクション「『あの日』ヒロシマ・ナガサキ」読み聞かせボランティア「ピノキオ」による、これまた心にずっと響くものでした。ロシアのウクライナ侵攻日（2月24日）以前に企画したものかと思いますが、よどみなく進む朗読と演奏に引き込まれ、スクリーンに映し出された写真は直視できないほどでした。子を産み育てる母親にとって、我が子を奪われる衝撃はいかばかりか。世界のどこかで、今この瞬間も続いている権力闘争。人間の愚かさを呪わざにはおれません。

中身の濃い総会に、来賓としてこれ以上ない程の歓待を受け、大変貴重な体験をさせていただきました。またお心遣い溢れたお土産までいただき、本当にありがとうございました。

帰りの電車で、掛川地区更女だより第102号を読みました。3支部が均衡を保ちながらそれぞれの活動をされ、関連機関との連携も着々と進められている。やはり他地区の模範となるような更女会活動だと感心しました。

湖西地区更女会もどんなことができるか、参考にさせていただき、前進しなければと強く感じた1日でした。

掛川地区更女会の益々のご活躍と、会員の皆様のご健康をお祈り申し上げます。

今年の更生保護女性会の総会は、コロナ禍で縮小を余儀なくされた前回と比べ、多くの会員が参加され滞りなく全ての議案が可決されました。

大石会長の挨拶を聞き、少しずつでもできる事をやり切る大切さを感じました。

事業報告を見ますと、多くの事業を行っていることが分かります。少年の家食事作りや花壇の手入れ等があり、女性ならではの細やかな活動は社会貢献の一つだと思います。

また、社会を明るくする運動の作文審査では延

べ 60 名の会員が参加し、小中学生の純粋な気持ちに触れることができました。

続いて、今年度の事業計画が発表され、「e～らおおすか」や「フェスタおおぶち」への参加・PR等の地域に根ざした活動や、裁判所の傍聴のような専門分野に関する活動が盛り込まれ幅広い事業が展開されます。今年の事業は、一人でも多くの方が参加できて、会員の輪がもっと大きくなっていく事を願っています。

#### 掛川支部 戸塚 久美子

開口一番に申し上げたいことがあります。それは、総会冒頭に「素晴らしい！」と感じ入ったこと。大石会長が、来賓席の掛川地区保護司会の重鎮・岡田幸子先生のご紹介として、先日の春の叙勲にて御受章されたことへのお祝いの言葉を贈られたことです。

会長として、総会運営はかなりの気配りが必要で、ストレスのかかる催しで、その上時間的な制約等加わって時宜に合った言葉添え等なかなか出来ないものです。大石会長はしっかりとお祝いの言葉を伝えられ、敬意と祝意を表わされました。私達会員の代表としてそれをして頂き、本当に嬉しく感じ入りました。大石会長、ありがとうございました。

地区保護司会の先生方は、国の特別職公務員というお立場です。更女は、無償ボランティアの任意団体です。立場が異なっていても、更生保護という活動テーマが同じで、また更生保護法の法律の中で協力者として位置づけられているということで、地域内では共に協働団体です。

もう9年も前になりますが、私が更女の地区会長を拝命した折には、明るい社会づくりの活動の他に、新たに合同研修会や作文コンクール、並びに掛川市地区更生保護大会を初開催した時期でしたので、車の両輪のごとく、互いに啓発活動に励むことに違和感はございませんでした。ただ、宿泊が伴う視察旅行への疑問が更女会員からも上がり、

私は申し訳なくも、家庭の中で時間の都合を付けて無償ボランティア活動をする更女と、保護司の先生方とではお立場が異なることから、強いお願いを要請されても、それは出来にくないと申し上げたことがあります。当時はきっと様々な波紋があったことと推察しています。

保護司会と更女会が、互いの活動領域の中で、連携連帯出来る状況は、社会にとっては大切であろうと思います。背伸びをせずに、互いにそれぞれの団体が出来ることを尊重しつつ、豊かな気持ちで青少年の育ちを応援することは、共に双方の使命であり喜びです。

私は、図らずも一昨年保護司を拝命しました。私の居住地に保護司が不在となるため、お受けしました。以前打診された折に固くお断りしたことがあったことや、前述の保護司会へ異例の申し入れをしたことへの反省からでもありました。

私が出来ることはただ一つ、更女会との連携ではないかと。それも相手の立場にたっての連携を模索する、そのようなことではないかと感じています。掛川地区更生保護女性会も、もうすぐ60周年を迎えようとしています。イギリスのエリザベス女王さまの在位70年のプラチナ・ジュビリーのこの6月に、私たちも次の70年への歩みを未来思考で、考えてまいりましょう。

結びに、総会にて「音楽朗読劇」を鑑賞できたことも心から御礼申し上げます。

# 『アトラクション「あの日」ヒロシマ・ナガサキ』

掛川支部 平出 芳枝

御前崎市の平和を語る会ピノキオ「あの日ヒロシマ・ナガサキ」を見た。皆様で研鑽されての公演、本当にありがとうございました。心に残りました。両県の平和公園、記念館を訪ねましたが、余りにも悲惨と恐ろしさで目を覆うばかりでした。私事ですが、3歳の時、父は沖縄で戦死しました。(昭和20年6月17日)「近衛兵だに、東京に居るとばつかと思ってたに」とよく祖母から聞かされました。白木の箱には遺骨、遺品はなく、白紙に名前と小石が1つ入っていました。3歳の私の記憶です。遺骨のない父の死を、母、祖父母、姉弟はどんな気持ちで受け止めたでしょう。名誉の戦死ではありません。

友人で当時、女学生だった方に戦争中の生活を教えていただきました。教科書は持たず防空頭巾を被り学校へ行っている作業をしたようです。食料がなく、お昼時、お弁当のない人は外で過ごした。「勝つまでは」と沢山の我慢をしました。

今、言える事は近所の人達とともに助け合い、日々を過ごした事は忘れていませんと語って下さいました。

時代も令和になり、戦後生まれの多くなった今、戦争を日本の歴史としか知らない人にこの活動を広めていって下さい。

本当にありがとうございました。



「ピノキオ」による朗読劇の様子。生演奏も行われました。



## 『朗読劇の感想』

総会終了後、「『あの日』ヒロシマ・ナガサキ」と題し、読み聞かせボランティア「ピノキオ」の方々による朗読劇がありました。アトラクションの後、感想を書いていただきましたので、一部ご紹介いたします。

読み聞かせに加えて映像、生演奏と心のこもった読み聞かせに感動しました。平和の大切さ、今の普通の生活の尊さを改めて大切に思わなければと思いました。ありがとうございました。

これからも若い人たちに平和の大切さを伝えてください。

今まさにロシア、ウクライナの戦争がありますが、今日のような話を子ども達に伝えているよう安心しました。これからも続けてください。

生演奏の中でのお話にただただ感動しました。戦争を知らない私たち世代は平和しか知らないのがこれまでです。ただ現在の世界はウクライナ紛争が起こり、恐ろしさを感じます。戦争は絶対にいけません。不幸になります。

どうぞご活躍お続けください。良い機会にめぐり合え本当に良かったです。ありがとうございました。最高の語り、そして素晴らしい生演奏でした。

最初から最後まで感動しました。伝えていくことの大切さを改めて感じました。

私の父も広島の兵隊だったそうです。真っ暗な中を兵隊として片付けをしてきたようですが、家族で真実を聞いた者はいません。聞ける状態ではなかったそうです。10年は生きれぬ。子どもはできぬ。頭痛は何年も続いたようです。昭和23年に生まれた兄は、父の子ではないと言われ、誰にも抱かれなかつたそうです。その兄も、小学生の頃まで体調が悪く、いつ死ぬのかと不安だったそうです。

とても感動しました。生命の大切さ、平和の大切さを感じ、ウクライナの現状をみると身に沁みます。普段の生活がいかに大切かと、ただただ思うばかりです。

素晴らしく感動し、涙が止まりませんでした。どうぞ、ずっとずっとピノキオを続けてください。自分にできることは何だろうと自問します。ありがとうございました。

ゲームに夢中、お笑い芸人のテレビを楽しんでいる中高生が多いと思います。そのような子ども達は、今まで戦争のことを自分のこととして考えてこなかったと思います。一人でも多くの中高生に、ぜひ戦争（原発）をテーマとしてこの朗読劇を観せたい、聴かせたいと思います。

ピアノとフルートの生演奏の音色が会場に響き渡り朗読する方々の声、目に入ってくるスライドの映像、素晴らしい時間でした。

声の出し方、感情移入が見事でした。日頃の皆さまのご努力に頭が下がります。

### 大須賀支部

#### 『大須賀支部活動』

まきばの家 職員 柳澤 芽衣

牧場の動物たちも暑さにバテ始めた季節になりました。そんな夏至を迎えた6月28日、掛川市更生保護女性会の方々に花の苗植えをしていただきました。気温30度を超える中にも関わらず、丁寧かつ素早く作業をしていただき、あっという間にまきばの家の周りが花いっぱいになりました。

花に关心があり、「これはマリーゴールドだね、これは何だっけ？」と花を見ながら会話がはずむ子もいます。一方で、遊びに夢中になり花を踏んでペしやんこにしてしまいそうになる子もいます。子どもの反応は様々で面白いなと感じます。きれいな花が植えられているということは、誰が、どのようにしてくれたのか、と想像することができる子は少ないかもしれません。今はそれが難しくても、今後子どもと向き合っていく中で、きれいな花の存在に気付き、何気ない会話がこぼれるように私も踏ん張っていきます。

皆様には施設にも関心を持っていただき、苗植えの際には「毎日大変だねえ」「女の子は難しいよねえ」と声をかけていただきました。まきばの家の職員として、地域の方との会話や交流は初めてのことでした。緊張してあまり自分からお話をしたり、一緒に作業をすることができませんでしたが、職員としての関わりと地域の方との交流に、新鮮な気持ちになりました。

苗植えを通して、地域とのつながりを感じました。子どもたちにも地域とのつながりを大切に思う気持ちを持ってほしいのですが、私自身、小さい頃は地域とのつながりなど考えたこともなかったため、子ども達から挨拶をしたり行動を起こすことは難しいかもしれません。まきばの家の子ども達を見かけたら皆さまから声をかけてくださると嬉しく思います。その際、子ども達も表現方法が下手なため、恥ずかしがり、反抗的な態度をとり、気持ちのいい関わりができず、ご迷惑をかけてしまうかもしれません。温かく、時には厳しく、

見守ってくださると幸いです。

また、苗植えの後には簡単にまきばの家の紹介もさせていただきました。日々職員が葛藤している話を聴き、ご自身のお子様や子育てのことを思い返した方もいらっしゃると思います。私も現在、小3女児に本気で怒り、悔しさや難しさで振り回され、人知れず、隠れて泣いてしまいます。新入社員で子育ての経験もなく、まだまだ失敗の連続ではありますが、今後も皆さんに応援していただけるように、子どもと行ったり来たり、遠回りの、長い道のりを過ごしていきたいと思います。

今回もまきばの家の苗植えにご協力いただき、本当にありがとうございました。今後も皆様のお力をかしていただけすると幸いです。暑い日が続きますので、お身体を大切になさってください。



## 『まきばの家 花壇の手入れ』(6／28)

大須賀支部 鈴木 瞳子

とても暑い日差しの朝でした。会員 18 名参加のもとに、恒例となった花壇の手入れを行いました。久しぶりに会った会員との会話を弾ませながら、草をとり、石を拾い出して、堆肥を打ち込み、サルビア、マリーゴールド、日日草など。

準備いただいた花の苗を植え付けていきます。学校から帰った子どもたちがどんな顔をしてみてくれるだろうか?と想像しながらの楽しい時間でした。

## 掛川支部

### 『更生保護 × 養護 = 明るい社会』

養護老人ホーム掛川市ききょう荘 施設長 鈴木 龍太

日頃より、掛川市ききょう荘の事業運営につきまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

ききょう荘は高齢者の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な支援を行う措置施設です。広く知られている特別養護老人ホームは、介護を必要とする高齢者が対象の施設ですが、養護老人ホームは、身体的には自立しているが、環境的・経済的に在宅で生活することが困難な高齢者を対象としています。

しかしながら、現状は認知症対応をはじめ、障害や精神疾患等を持つ利用者が増加しており、従来の見守り支援に留まらない対応が求められています。その他、触法者など社会復帰者の受け入れについても課題となっています。その様な中、先日静岡保護観察所の職員の方から自立準備ホームのお話を伺う機会がありました。自立準備ホームは、保護

観察所が民間法人・団体等の事業者に自立支援の為の生活指導のほか、必要に応じて食事の提供を委託する宿泊場所です。お話では、養護老人ホームを自立準備ホームとして登録し、委託を行うことも考えられているという内容でした。実際には、様々な問題はありますが、社会福祉法人として、定員の空きを活用し、本来の業務に支障の無い範囲で支援対象者を受け入れる必要性を感じました。

今後さらに取り組むべき課題として、高齢者、障害者、児童等の対象者に関わらず、属性を問わない包括的な支援を提供する仕組みを推進していくことが挙げられます。その為には、地域に活動の基盤をもつ更生保護女性会の皆様のあたたかさと細やかさを生かした活動が必要不可欠です。誰もが心豊かに生きられる地域づくりの活動について、これから先も掛川地区更生保護女性会の皆様と協同できることを楽しみにしています。



6月20日 入所者の皆さんと更女会員とで ききょう荘の花壇のお手入れを行いました

## 『ききょう荘にて』(6／20)

掛川支部 伊藤 啓子

6月20日、梅雨明けの暑い日、会員10名が鎌、鋤、園芸鉄等を持参しての参加です。入所者の皆さんもマスクで作業準備もしっかりしての参加、挨拶の後作業開始、前回植えた球根等を丁寧に確認、そして雑草取り、すごい草です。でも大丈夫。今回も和田様の御協力があり、見違える程に整地されました。いつもありがとうございます。一段落した所で冷えた麦茶を全員でいただき解散、皆様暑い中お疲れ様でした。

今回はこんなこともありました。入所者の女性が私の所に来て「今日は〇〇さんは休みですか。」

私が「あいにく急用ができるお休みですが、定植の時にはお会いできますよ。」と伝えると、入所前には食事をしたり楽しいお付き合いがあった様です。お二人は今回は残念でしたが、女性は日々の生活で次、秋は〇〇さんに会えるという目標が作られたと思います。

以前、施設長と打ち合わせの中で、外部との交流が少ない生活の中地域、各団体等の横のつながりを大事にしていきたいと話されました。年数回の更女会との交流が、皆様の明日からの心のしみや安らぎになれるといいですね。

## 大東支部

### 『ミニ集会（永福寺の僧侶法話）』(6／14)

大東支部 五島 ひさゑ

6月14日、誘い合って、千浜の永福寺の僧侶、藤澤無学様の法話を聞きに出掛けました。

まず、お寺の名前「永福寺」何とも温かみのある優しい響き。住職様の無学という名前、これはご本人様にとってとても意味のある名前だと言う事もわかりましたが私は私なりに庶民に寄り添う謙遜した名前とも思いました。

車から降りて目にした境内の落ち着き、建物の落ち着き。おじゃまさせて頂いただけでご利益がありそう。「来て良かったあ」と得した気分でした。

お話の中では震災のボランティアでの小学生との出会い、ホスピスでの若い人とのかかわり、「がんばろう」の言葉の重み等感動しました。

天井には一面に龍の絵が描かれ圧倒されました。どこから見てもこちらを向いている目、不思議でした。

人間は一生が修行の場、勉強だと思います。「永福寺」をまだ訪れた事のない方、ぜひ見学させて頂いたらいいですよ。きっと良い事ありますよ。



## 『ミニ集会に参加して』（6／14）

大東支部 明石 ふさ子

千浜の来福にある、古寺の永福寺住職様より、御法話をいただきました。和尚さんになられたいきさつは、奥さんのお父さんに惚れて、厳しい修行を乗り越えてなったこと。良い出会いがあったのですね！

和尚仲間と東日本大震災の時、5日間ボランティアに行き母親を失った小学生と過ごした中で、力の足りなさ、気持ちの持ち方を考えさせられ和尚をやめようと思ったそうです。師匠に相談したら怒られたとのこと。また、子ども達の力には凄いものがあることも体験されたそうです。現在も人生相談に取り組み、ガンの余命宣告を受けられた方や、御家族との対応を解決し喜ばれています。また、不登校、引きこもり等も良い方向にいっているとのことでした。

お話の中から「人の気持ちを汲む」「アリガトウの気持ちを持つ」心がけていきたいと思います。

次に、本堂の3頭の龍と廊下の4羽の鳳凰の天井画の説明があり、絵の中に「アリガトウ」の文字が入っていました。色彩も素晴らしい、迫力もあり感動しました。

ミニ集会だからこそ大勢の人がみえ、久し振りに会え、目を合わせ嬉しい気持ちになりました。一日良いひと時を過ごすことができました。有難うございました。

## 社会を明るくする運動の街宣活動及びキャンペーンに参加しました（7／1）

今年度は 市内3か所で実施しました

大東支部



掛川支部



大須賀支部



## 会員研修会～掛川市消防本部南消防署による救急法研修会～（7／21）

7月21日、大須賀市民交流センター（大須賀支所2階）に於いて会員研修会を開催しました。

今回は、掛川市消防本部南消防署 山城救急隊長を講師にお招きし、『あなたにしか救えない命があります』をテーマに、日常業務の体験として出動して感じること、水の事故やのどのものを詰まらせた人、病気・事故で心肺停止になった人に居合わせたときの速やかな対応についてお話しいただきました。

また、救命措置の医療機器であるAEDの使い方もDVDで説明いただき、大変有意義な研修会となりました。

### 『救急法「あなたにしか救えない命があります」に参加して』

大東支部 雜賀 雅子

7月21日、掛川地区更生保護女性会の研修会に於いて、講師に掛川市南消防署の山城隊長の講習を拝聴いたしました。

「あなたにしか救えない命があります」という大きなタイトルで心が引き締まりました。日常生活の中でも様々な機会を通して「心肺停止」「人工呼吸」「AED」の使い方などの言葉は耳にしておりますが、現実問題としてその場面に居合わせる事等無いので、山城隊長のリアルなお話に、ハッと気付かされました。

先日も日本どころか世界を揺るがす大きな事件がこの平穏な日本で起きてしまったばかりで、TVニュースを通しての映像が目に焼き付いています。「どなたかお医者様、看護師の方はいませんか」「人工呼吸の出来る方はいませんか」と叫ぶ関係各種の警護の方々の、動搖はいうまでもありません。



あれ程の事件を目のあたりにして、人の命の大切さはたとえどなたであっても、一人の人の命を助けたいという気持ちは人類共通の願いです。「事件、事故、災害、病気」に拘わらず、今の社会を生きている私達が、命の尊さを次世代へ伝えていかなければならない事だと思います。

最近の社会現象にみられる幼い子どもやお年寄りに至るまで悲しい事件、事故が頻発しています。今一度、全ての人々が命の尊さを見つめ直す事を教えてくれているのだと思われます。

私達も微力ながら一人の更女会員としてどんなにちいさな事柄でも真剣に向き合って責任ある行動をし、生活していきたいと心より願っています。とてもよい勉強会でした。隊長の山城様、企画してくださいださった役員の皆様、本当にありがとうございました。



## 新人研修会（7／25）

令和4年度の新人研修会が、浜松駐在官事務所にて7月25日に開催されました。  
今年度新規加入された鈴木さえこさんにご参加いただきました。

### 『新会員研修の意義』

大須賀支部 鈴木 さえこ

令和4年7月25日(月)更生保護女性連盟の新会員として研修に参加。リモート研修でしたが、違和感なく終えることができました。

静岡県更生保護女性連盟・堀会長の講話で『今年連盟結成60年』とのこと。そういえば”関更女だより”にも掲載されていましたね。結成当時私はまだ小学生でしたが、当時から女性のパワーや視野の広さで活躍されていたことに今更ながら驚き、関心しています。そして次代へと受け継がれている素晴らしい女性魂を見ることができました。

「女性会のパートボーンは、地区活動にある」という言葉に、その通りと納得。組織を支えているのはやはり会員であり、その行いが人を支えています。そして、更女連盟は保護観察所の下部組織ではなく、パートナーとして施設支援をしていることにも認識を新たにしてきました。その他にも「ボランティアは自分の大切な時間を使います。あたた

かな心をもって」や「子育て支援は親育てにあり」など、当たり前のとしての行動にも深い意味があることを再認識し、今後の活動に貢献したいと思います。

ビデオ視聴『広げる・未来へ』では、活字を読むよりやはり視聴での確認が効果的と感じました。

映像とナレーションで、かなり伝わり方が変わってきます。このビデオは全会員に一度は鑑賞していただきたいです。

最後になりましたが、研修会会場への往復時、掛川地区会長・大石幸恵さんから更女についてお話を聞かせていただきました。やはり、役員の方々の心配りや水面下での行動&努力が会員相互の結束を強くし、組織作りに貢献していることをつくづく実感して、頭が下がりました。  
本当に有意義な一日に感謝致します。ありがとうございました。

### 退会された皆様をご紹介します

掛川支部 永田 謙子  
大東支部 石川 信子 鈴木 きぬ子  
富田 とみ子 平松 洋子  
若杉 洋子  
大須賀支部 松下実千代

永きにわたりご協力いただき

ありがとうございました

### ～編集後記～

コロナ禍でさまざまな活動が中止になりましたが、少しずつ集会が出来るようになり、感染症対策を徹底し、活動を行うことが出来ました。皆様のご協力ありがとうございました。

大東支部一同

※更女会の活動は、「掛川地区更生保護女性会」のホームページにアップされています。是非ご覧ください。



## ～今後の活動計画～

### 【県更生保護女性連盟】

月	日	事業	場所
10	4	静岡県更生保護女性連盟 60周年記念大会	グランシップ（静岡市）

### 【掛川地区更生保護女性会、その他】

9	9	社会を明るくする運動 作文一次審査	大須賀市民交流センター
9	14	社会を明るくする運動 作文二次審査	大須賀市民交流センター
9	22	視察	中部電力株式会社
10	28	社会貢献活動（草刈り）	東遠学園

※コロナ禍により予定が全て実行できるとは限りません。総会資料で「未定」の活動は記載していません。

